

『いわての森林づくり県民税』を活用した取組の成果について(概要)

大切な森林を守り育てるため、岩手県では平成 18 年度から「いわての森林づくり県民税」を導入しています。これによって、森林環境を守り、森林が持っている役割を維持増進させるため、間伐による森林環境の保全する取組を行ってきました。昨年度(令和5年度)まで18年間の事業実施効果は次のとおりです。

1 間伐による森林環境の保全 (事業名：いわて環境の森整備事業)

- (1) 間伐を行い、林内に光を入れて広葉樹が育ちやすい環境を整えています。
- (2) 急いで整備をしないといけない 25,000 ha の森林のうち、これまでに約 19,000ha の森林整備を行いました。
- (3) 今まで手入れされず放置されていた森林が、着実に整備されたことにより、水資源のかん養や土砂の流出防止、地球温暖化防止など、森林の公益的機能が発揮されることが期待されます。

【事業実施例】



[整備前]



[整備後]



[針広混交林化]

2 伐採後の未植栽地等への造林 (事業名：いわて環境の森整備事業)

- (1) 公益上重要でありながら、更新が図られていない伐採跡地において、植栽や下刈等を実施し、公益的機能を高度かつ安定的に発揮する森林を整備しています。
- (2) 令和3年度から令和5年度で、更新が図られていない伐採跡地への植栽を約 550ha 実施しました。

【事業実施例】



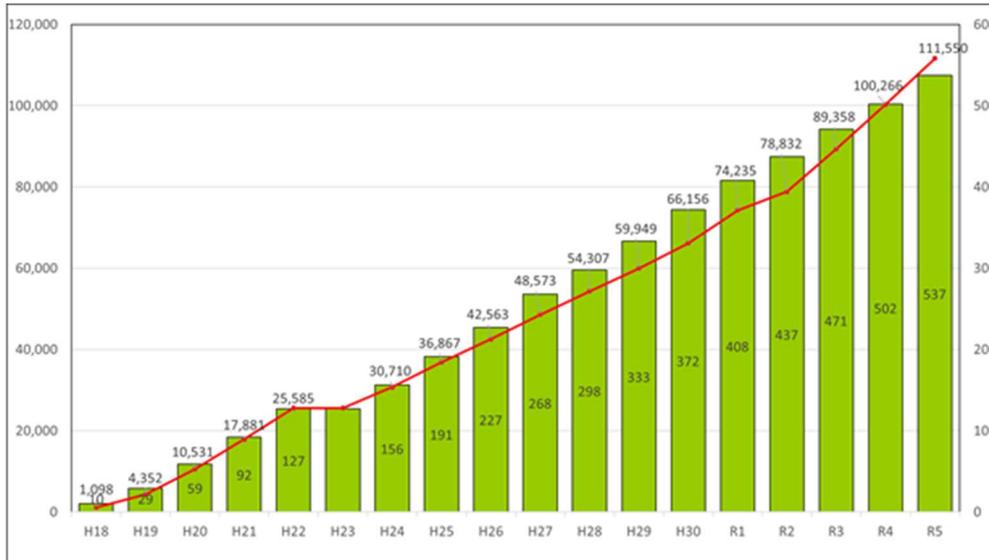
[整備前]



[整備後]

3 県民の方々の森林づくり活動への助成 (事業名：県民参加の森林づくり促進事業)

- (1) 地域の方々などが行う身近な森林を守り育てる活動を進めることにより、地域の森林の保全に対する理解を深め、住民の参加を広げる取組を行っています。
- (2) 平成18年度から令和5年度までの17年間(平成23年度は事業休止)で、延べ537団体を支援し、延べ111,000人を超える方々が参加し、県民参加の取組が広がりました。



支援した活動団体数と参加者の推移 (※平成23年度は東日本大震災の影響により中止)

【森林整備活動】



【人材育成活動】



【森林環境学習活動】



4 児童・生徒等を対象とした森林環境学習の開催（事業名：いわて森のゼミナール推進事業）

- (1) 児童・生徒等を対象に、森林・林業に関して学習する機会を提供しました。
- (2) 森林環境学習会では、多くの児童・生徒が「森林に興味を持った」と答え、「森林をもっと調べたい」「木が空気を作ってくれていることに驚いた」などといった声が聞かれるなど、参加者の関心度は高く、森林・林業に対する理解を深めることにつながりました。
- (3) 具体的な取組内容
 - ① 森林環境学習会などの開催
森林インストラクターなどの指導者による森林環境学習を、小中学校、延べ 364 校で開催し、延べ9,500名を超える児童・生徒等が参加しました。
 - ② 森林環境学習指導者研修会などの開催
地域住民の自主的な取組が県内各地で活発に行われるよう、森林や林業に関する基礎講座やリーダーの育成研修などを開催し、1,500名を超える方々が参加しました。

【活動事例】



5 第73回全国植樹祭の開催（事業名：全国植樹祭運営費）

- (1) 林業の持続的で健全な発展や森林の多面的機能に対する理解醸成を図るとともに、震災からの復興の姿を国内外へ発信するため、令和5年6月に全国植樹祭を陸前高田市において開催しました。
- (2) 招待者、実施本部員及び協力員等、サテライト会場参加者を含め約7,000人が参加し、豊かな森林を守り、育み、次の世代を担う子どもたちへと、確実に繋いでいく契機とすることができました。

【式典の様子】



6 いわての森林づくりのPR、啓発（事業名：いわての森林づくり普及啓発事業 等）

平成 18 年度から令和 6 年度までの 18 年間、下記のさまざまな方法で普及啓発を進めました。

- (1) いわての森林(もり)の感謝祭 [H20~22、H24~R01、R03] (12 回)
- (2) 新聞による広告 [H18~R3] (19 回)
- (3) 啓発イベントの開催 (成果報告フォーラムなど) [H18~30] (8 回)
- (4) 映像資料 (DVD) 製作による各地のイベント・学習会などでの放映
- (5) パンフレットやポスターの作成配布 [H18~R6]
- (6) ホームページによる情報発信 (随時)
- (7) 県政広報 (テレビ、ラジオ、メールマガジン、新聞、広報誌など) による情報発信
- (8) その他イベントなどによる情報発信

【活動事例】



〔 森林の感謝祭 〕



〔 新聞広告 〕



〔 普及啓発チラシ 〕



〔 森林環境学習パンフレット 〕

7 これらの取組の評価・検証を行う機関の運営（事業名：事業評価委員会運営費）

- (1) 外部有識者や公募の方など 10 名により構成される「いわての森林づくり県民税事業評価委員会」を設置し、県民税を活用して行う事業の審査や評価・検証、現地調査などを 18 年間で計 112 回開催しました。
- (2) 委員会では、県民の方々がより活用しやすい仕組みへ見直すなど、さまざまな意見をいただき、これらは関連事業に反映されています。



森林整備イメージキャラクター
カンバツ君

〔岩手県農林水産部林業振興課作成〕